No.346号　2013年4月号

あゆみ

社会保険
二本松病院
二本松市成田町1−553
TEL0243-23-1231
FAX0243-23-5086
http://www.shaho-nihonmatsu.com
発行責任者:院内外報編集部

新年度を迎えて

病院長　有壁　譲

桜の訪れとともに、今年は9人の新しい仲間を迎えることになりました。この二本松病院で一緒に仕事が出来ることは、とても嬉しく全職員で歓迎いたします。早く病院に慣れ、良き医療人となるように頑張ってください。私たちは「患者さんの苦しみを取り除く」という大事な使命を持っております。常に苦しんでいる患者さんの立場で考え、そしてお世話をするという医療の原点を忘れず行動してください。期待しております。

さて以前からお伝えしていたところですが3月で産科が休診となり、地域の皆様には大変申し訳なく思います。この地で安心して子供を産み育てる環境を維持すべく、医師確保に向けて頑張ってまいりましたが、今までによい結果が出ません。今後も引き続き努力してゆく所存です。

平成14年から始まった社会保険病院の存続問題では、長い間皆様にご心配をおかけいたしました。ようやく来年の4月より独立行政法人地域医療機能推進機構として国の公的病院となり、この地域の医療福祉に寄与してまいります。「地域医療機構　二本松病院」と名前は少し変わりますが、今まで同様病院では医療を、サンビューでは介護をしっかり提供してまいりますので、どうぞご安心ください。

二本松病院は今年創立50年を迎えます。これも地域の皆様の当院に対する熱いご支持の賜物と、深く感謝申し上げる次第です。そしてこれからもこの地域に大いに貢献できますように、安全で良質でご満足いただける医療福祉に邁進してまいりますので、今年度もよろしくお願い申し上げます。

社会保険二本松病院 開院記念講演会

日時：2013年5月16日（木）18:00〜
場所：二本松御苑　0243-23-3921

ミニ講演

「正しく知りたい健康食品」
薬剤部長　小島信喜

特別講演

「震災後における放射線による健康への影響」
（特に甲状腺について）
福島県立医科大学医学部
腎臓内分泌外科学講座
教授　鈴木　眞一　先生
（講演終了後、懇親の場をご用意しております）

記念週間イベント

5月13日（月）〜15日（水）　AM10:30〜PM0:30
病院玄関ホール
職員による測定・展示コーナーなど

講演及びイベントは無料となっております。整理券の発行もございません。

〒964-8501　二本松市成田町1-553　社会保険二本松病院開設記念祝賀実行委員会　TEL23-1231

定年を迎えて

看護局長
富永　昭子

今から6年前、前病院長大森先生から少し手伝ってくれるよう声がかかり、二本松は自分が生まれ育った町であり、前看護局長添田さんとも面識があったことから、無謀にも自信など無いままお引き受けしてしまいました。申し送りは、喫茶店でのわずか数時間、転勤のような形で二本松病院に勤務いたしました。

県内からあまり出たことの無い田舎者の私にとって、何かあるごとに東京品川の全社連研修センターに出向くことは、会議の緊張のほか目的地に向かう緊張がありました。

そんな状態で始まった19年度は、次年度が病院機能評価更新の時期でしたので、看護局長のほか医療安全管理者の立場から、他職種とも多くのかかわりをもたせていただきました。受審日が近づくにつれ、焦りと不安のつのる中、科長中心に必死の思いで取り組みました。あまりの緊張に、審査終了後、看護科長全員が局長室に集まり感激の涙。その涙の後にやっと食欲が沸き、みんなでラーメンを食べて解散したことを思い出します。

21年度には、東北ブロック7病院の全社連管理者会議や看護局長会議の当番で、前猪狩事務局長の指揮のもと、会場準備から観光まで無我夢中で役割を果たしました。

22年度は、全社連東北ブロック拠点研修当番で、仙台と北海道で各3回、合計6回の研修を開催しなければなりませんでした。二本松には、大きな研修会場が無く、仙台・秋田の交通の便からも、仙台での会場準備から北海道の会場準備、講師依頼、ファシリテーターの依頼、そして評価報告と悪戦苦闘の日々でした。

そして23年度は、あの未曾有の東日本大震災です。この経験は、大変ではありましたが、職種間の協力体制がスムーズに、頼もしく、一丸と感じられた時でした。

24年度はオーダリングに加え、看護支援システム導入と、今考えるとあっという間の6年間でした。このように、あわただしい中でも、科長会主催の気まぐれカフェや小野宏子さんのフルート演奏会、他職種を含む科長・係長3Dアート作品作りなど、癒しの時間も過ごすことができました。

病院という職場は、対象が人であることから、人間として学ぶことがたくさんあり、仕事として魅力があります。だからこそ、その中で成長し、やりがいを見出すことができるのだと思っています。

これから、新機構に向け準備に大変でしょうが、管理者を中心に、地域住民の求めに合った医療支援が行われれば、マグネットホスピタルとなっていきます。少しでも穏やかに、新機構に移行でき、皆様の活躍がよい結果につながることを願いながら応援しております。本当に長い間ありがとうございました。

放射線部
高橋　登

思えば昭和61年9月以来26年余二本松病院をこの3月で定年退職することになりました。病院の周りは当時に比べ老健施設ができアパートが立ち並び外観は一変し見違えるほど発展しました。「光陰矢のごとし」過ぎてしまえばあっという間ですが皆さんから沢山のエネルギーや若さをいただきました心より感謝しています。これからは背伸びせずマイペースと考えているところです。

振り返りますと、当病院に就職する前は鉄道病院（現JR病院）に11年間在籍していました。37年間の区切りを終えようとしている今、社会変化に戸惑うばかりで頑張らなくてはと自分に鞭打っている姿があります。今まで目の前のことに対処するだけで精一杯のまま日々を過ごしてきただけだったなと思います。健診業務では、高速道路ができる前の話しになりますが県内くまなく健診を実施していました。日の出る前に病院を出発し帰りは日が沈んでしまったこともあり昨日のように感

じられます。また、職員運動会・職員旅行・社会保険野球大会など楽しいことばかりでした。

平成26年4月から独立法人「地域医療機能推進機構」が発足し新しく生まれ変わります。慌ただしい状況の中で先行き見えない不安もあるでしょうがこの窮地を乗り越えてこそ成長し、新しい道が開かれるのではと思えます。頑張って下さい。

一年半前、富士山に登った時のことですが、富士山に魅了され風景写真撮影に挑戦している方に出会いました。私自身も写真に興味があったので（多分同世代と思われます）声を掛けて話をしてみましたところ、その方は定年退職後、ボケ封じのため趣味で富士山の撮影をしているそうで生活の一端を話してくれました。私もこの方の挑戦に負けないよう、去年から始めたばかりのマラソンでホノルルマラソンを完走できたらいいなあーと夢見ているところです。まずは地元のマラソン大会に参加したいと思います。

最後に、皆様のご健康とご活躍、二本松病院が益々充実・発展しより良い病院になることをお祈り申し上げます。

4階病棟
藁谷　玲子

昭和53年7月、社会保険福島二本松病院に就職いたしました。会津若松（竹田綜合病院）で看護師としてスタートし39年。看護という力を借り巡り会えた患者さんから沢山のことを教えて頂き励まされてきました。また、沢山の方に支えられ看護職を勤め上げることが出来ました。そして大過なく定年を迎えることが出来ましたことに心より感謝申し上げます。

当時の病院は田んぼの中にあり、田に水が入ると夜な夜なカエルのコンサートが開かれていました。夏にはオニヤンマ、クワガタ、カブトムシが院内に入り込んできた（受診に来たのかも？）自然豊かな病院でした。そして、その頃の病院行事に健康づくりのレクリエーション、運動会（家族参加）、球技大会、旅行、お城山でのお花見等あり、職員間の交流に参加することで繋がりが強くなったような気がします。特に病院旅行はもう一度行きたかったと心残りです。いつの間にか無くなってしまった病院旅行を復帰させ職種を超えてのコミュニケーションの場ができれば、多忙な業務に追われている毎日に優しい風が吹くような気がしませんか？

いろいろな思い出がありますが楽しい仲間と仕事ができたことが一番の宝です。本当にありがとうございました。

皆様のご健勝と、これからも地域医療に貢献する二本松病院として前進して行くことを心から願っています。

腎センター
佐藤美智子

私は昭和54年、4月より当院に就職し、看護師として34年間勤務させて頂き、この春大過無く定年を迎えることとなりました。この間、私を指導し心温かい励ましの言葉をかけてくださり、支えて下さった院長先生はじめ、職員の皆様には心から感謝申し上げます。

振り返りますと、旧病院から新病院へ変わり、病棟での3交替、ナイト制、産後の外来勤務、最後は透析室勤務で15年間お世話になり、その中でオーダリングに変わり覚えるのが大変でした。毎日目まぐるしく働いてまいりましたが、今思うと、「あーっ」という間にここまで来てしまった気がします。

山登り、盆踊り、バレーボール、レクリエーションでの体力づくり、花見、芋煮会、新年会、忘年会、職員旅行と楽しい思い出がたくさん出来ました。

労働条件も少しずつ改善され、職員の皆様にも恵まれ、良い時代を駆け抜けてきたと思います。これからの人生は、家庭菜園（イチゴ作り）などをして健康に留意し、のんびりと暮らして行きたいと思います。

震災以降、原発事故や放射能問題と復興にはまだまだ時間がかかりますが頑張っていきましょう。

また今後、病院のシステムが変わるので大変な時期になりますが、患者様とのふれあいを大切により良い看護をし、より良い医療を目指して皆様で病院を盛り立て、病院の未来を担い次の世代へ繋げていって下さい。

新しい健診バスの紹介

この度、当院健康管理センターに最新のデジタル画像撮影装置を搭載した健診バスが導入されました。4月より稼動しており、中通りを中心に各事業所に訪問し健診を行っています。車輌は、形状が従来の「バス型」よりトラックボディ仕様になり、車色は、他の健診バスと同じように、白地を基本に水色と青色のラインを使用し、清潔感のあるものにしました。この新しい健診バスの名称を「あだたら2号」とし、各地域の皆様に親しまれるバスにしていきたいと思っています。

デジタル画像撮影装置につきましては、画像処理の性能が向上したため、今までよりもレントゲン検査時間の短縮にもつながり、スムーズな健診を行えることが特徴になっております。また、受診者のレントゲン検査の待合室は広く、明るく空調も完備しておりリラックスしてお待ちいただけるようになっています。

健診により異常を早期に発見することで生活習慣病の予防ができます。現在、40～70歳でみると男性で2人に1人、女性の5人に1人がメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を強く疑う、又は予備群と考えられます。メタボリックシンドロームの要因である内臓脂肪を少しでも減らし、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、さらには心臓病、脳卒中などの生活習慣病の発症を未然に食い止めることができます。健診を通して、地域の皆様に安心を提供してまいりますので、是非、この機会に、最新の設備・機器が搭載された「あだたら2号」でのご健診もご利用下さい。

我が家のアイドル

僕の名前は武丸。4歳のパグです。
体は小さいですが気が強く、普段、家族以外の人が来ると、おばあちゃんと家を守るため勇敢に吠えたてます。
こんな僕ですが、土曜日にお父さんが帰ってくると嬉しくて、お父さんがベッドに入るとお父さんの腕枕で朝までぐっすり寝ています。

事務局長　佐竹敦夫

人事異動

定年退職者（3／31付）

- 看護局長　富永　昭子
- 放射線部　高橋　登
- 4階　藁谷　玲子
- 腎センター　佐藤美智子

退職（3／31付）

- 医局　立花和之進
- 放射線部　矢野　良彦
- 施設課　齋藤　聡浩

採用（4／1付）

- 医局　千田　峻
- 放射線部　儀藤百合子
- 理学部　江口　紘也
- 訪問看護　渡邊由起子
- 訪問看護　渡邊　綾香
- 3階　芦立　麻子
- 4階　斎藤　由美
- 施設課　橘内　智徳
- 医事課　鈴木　友梨

今年の行動規範
思いやり
今月の目標
『よく聞く
その姿勢が
信頼を生む』
医事課

編集後記

桜前線北上真っ最中!! 温暖化の影響なのか桜の花の神様のいたずらなのか例年より早い桜の花見がニュースで聴かれます。桜の花を愛でることは新年度に向けて新鮮な気持ちにさせてくれるよい季節となりました。

3月31日付で退職された皆様、病院のため地域のために尽力をつくされ永い間本当にありがとうございました。これからは、健康に留意し私達を病院の外から見守って下さい。また、4月1日付で新採用者の9名のみなさん、私達と一緒に先輩たちが築いてくれた二本松病院を支えていきましょう! そして、桜の花の下で大きな夢を語り合いましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

Y・M記